



**ST. LUKE'S  
INTERNATIONAL  
UNIVERSITY**

Do your best, and it must be first class

# 母性神話と妊娠・出産について

助産・ウィメンズヘルス専攻  
修論コース  
21mw006 木原由莉



# 女性にとっての妊娠・出産・育児



- ・イスラエルの社会学者 オルナ・ドナードが23人の母親である女性たちに質的インタビューを行い執筆したもの。
- ・NHKでも特集が組まれる(2022年5月頃)、Amazonのフェミニズム部門ベストセラー1位など、日本だけではなく海外でも共感の声が聞かれている。
- ・「母親」になるということは、どういうことなのかが社会的な側面から捉えられている。





# 女性にとっての妊娠・出産・育児

## 内容

- ・母親になっている女性は、皆望んで母親になっているという社会規範は、マイナスな感情を抱くことを認めさせない。
- ・母は「良き母」であることが常に求められる。「良き母」とは、疑問や条件なしにわが子を愛し、母であることに喜びを感じなければならない。→感情までも規制される。
- ・母親であることは、いつ、どこにいても拭い去れないものであり、自身のアイデンティティが失われてしまう。

など、母親という役割を背負ったことに対する、後悔や葛藤を明らかにしている



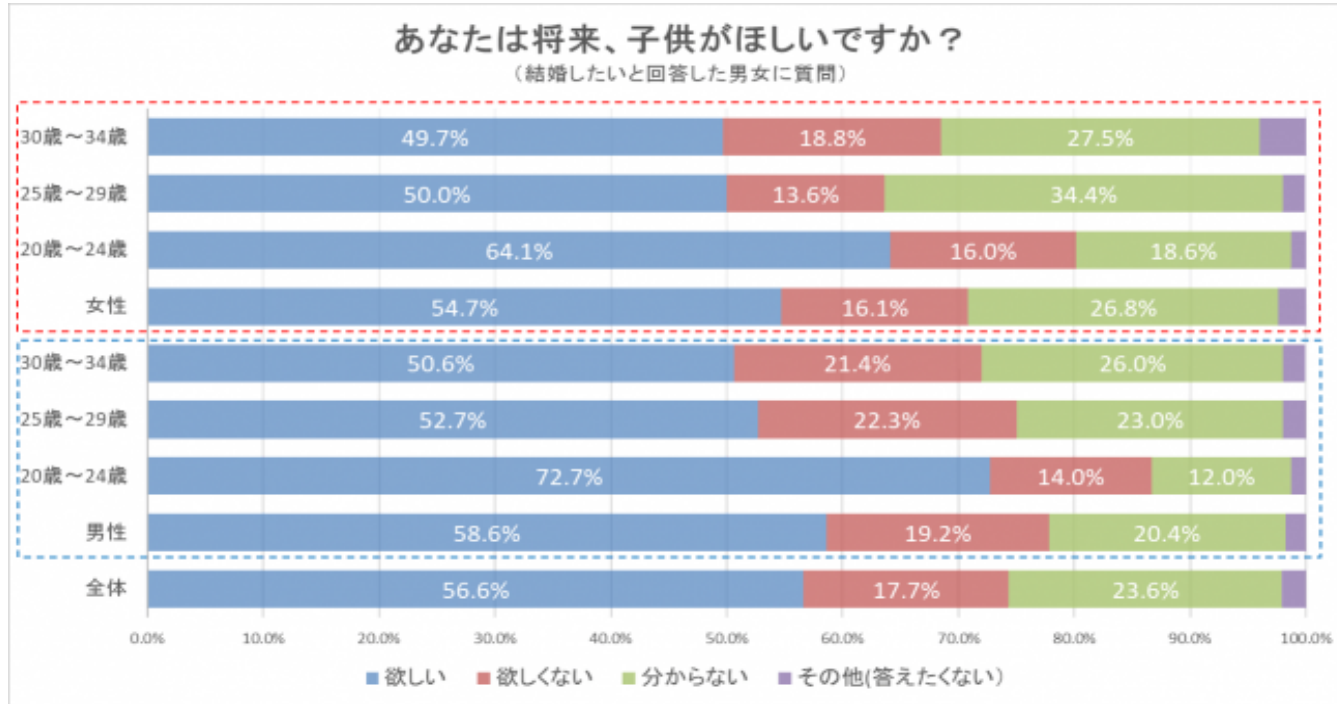
母性神話

- ・母親＝偉大で、超越した存在
- ・美化された「良き母親像」
- ・三歳児神話  
など





# 女性にとっての妊娠・出産・育児



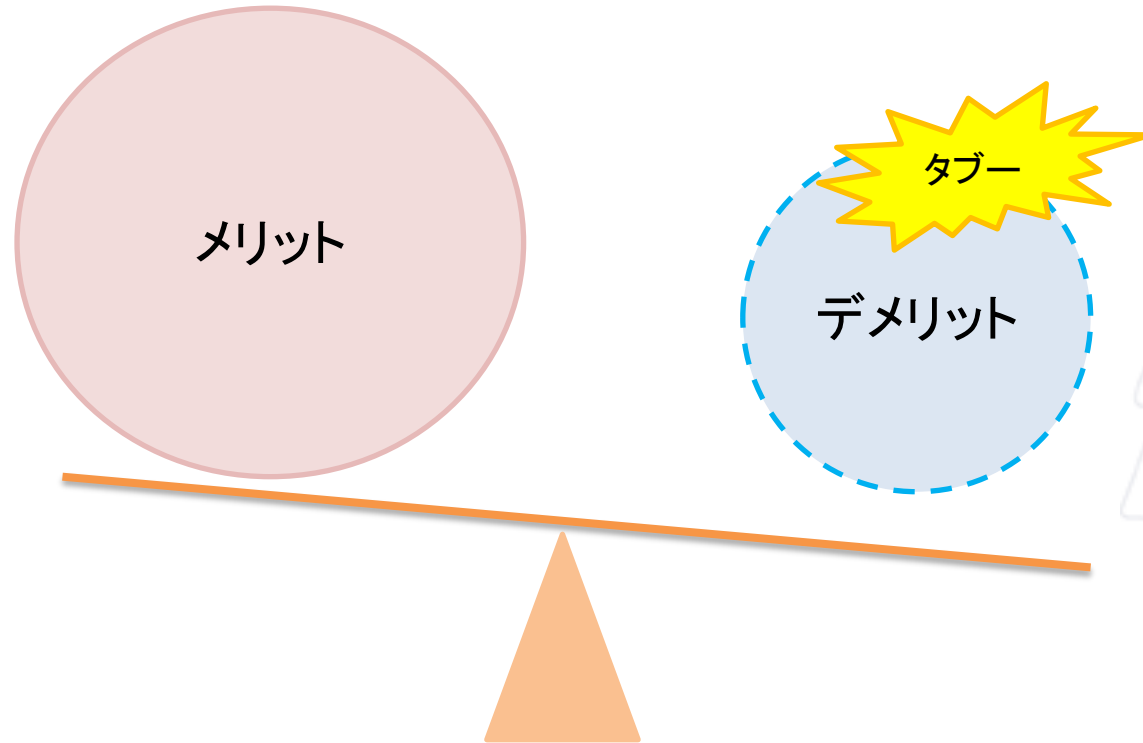
オーネット. (2018). 独身男女の「結婚希望年齢」と「子供」に関する意識調査  
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000120.000022091.html> (6月21日検索)

社会的に妊娠・出産＝幸せ、価値のあるもの。多くの人がそれを望んでいる。





# 意思決定について



母親になることで抱く、葛藤や後悔というマイナスな側面に関しては、タブー視されがちであることから、明らかにならないまま、意思決定(妊娠・出産)しているのではないか。



pixta.jp - 45270325





## まとめ

- ・妊娠・出産・育児というのは、女性の体に起こることであり、尚且つその後の人生を大きく左右するライフイベントの一つである。そうであるにもかかわらず、母親になったことの後悔や葛藤などはタブー視されがちであり、明らかにされないことが多く、社会が構築する価値観や社会規範に大きく影響を受けているのではないかと考える。
- ・女性が、主体的に自分の人生について選択することが必要なのではないかと考えました。

## 引用文献

オルナ・ドナード. (2018). 母親になって後悔してる. 新潮社

オーネット. (2018). 独身男女の「結婚希望年齢」と「子供」に関する意識調査.

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000120.000022091.html> (2022/6/21検索)

杉浦浩美. (2018). 保育士養成と三歳児神話-内面化された家族規範-. 埼玉学園大学紀要, 人間学部篇, 第18号, p183-194

